

小川真奈さん（山口県 JICA デスク）
2017 年度 4 次隊 青年海外協力隊
派遣国：ケニア 職種：コミュニティ開発
2021 年 4 月 25 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

助言は相手目線を尊重

ケニアの「ポレポレ（スワヒリ語でゆっくり）」精神を胸に、山口県 JICA デスクで国際協力推進員として働いている。国際協力機構（JICA）窓口として事業紹介、海外協力隊関連の対応、国際協力出前講座の実施、国際理解イベントの企画運営等を担う。県内で JICA の活動や国際協力を広める仕事だ。コミュニティ開発隊員としての 2 年間の協力隊経験が大いに生きている。

2018 年 3 月、ケニア南東部のタイタタバタ県産業化局に赴任し、特産の籠の国際市場への販路拡大、品質向上を支援した。苦労したのは助言や真意がうまく伝わらないこと。品質改善の助言を何度伝えても改善されず悩んだが、生産者と話すうちに日本基準で話していたことに気付いた。違いを受け入れ、自身の「当たり前」を^{ひつしよく}払拭することは簡単ではないが、異なる価値観や文化を持つ相手の立場や目線ではなかったと痛感し、改善。さらに、なぜ汚れやサイズ違いがあると売れないのか理由を明確に伝え、改善点を考えてもらうよう指導した。その結果、生産者の自発的な話し合いが生まれ、改善が見えた時は本当にうれしかった。



品質向上を目指しアドバイスを受ける
特産の籠の生産者グループ

住民と試行錯誤しながら地域開発に携わった経験は魅力的だった。今は国際協力を通じて地元を盛り上げ、国際的視野で活躍できる人材育成に貢献するのが目標だ。固定観念や世界の多様な考えにハッと気づき、新たな視点を得るきっかけをつくり、多文化共生社会につなげたい。何より焦らず失敗を恐れず、「ポレポレ」地域の人と一緒に楽しんで挑戦、成長していきたい。